Creative Enzymes®

E. coli由来のペプチドグリカンリティックエクソトランスグリコシラーゼ102A、組換え品

Cat. No. NATE-1531

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	ペプチドグリカンリティックエクストロングリコシラーゼは、ペプチドグリカン内のN-アセチルムラミン酸（MurNAc）とN-アセチルグルコサミン（GlcNAc）残基間の1-4-β-グリコシド結合の外切断に関与する酵素であり、ペプチドグリカン鎖の還元端または非還元端のいずれかから作用し、MurNAc残基内に1,6-無水結合を形成します。
別名	ペプチドグリカンリティックエクソトランスグリコシラーゼ; ペプチドグリカンリティックトランスグリコシラーゼ

製品情報

種	E. coli
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
分子量	38.3 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	0.25 mg/mL
最適pH	4.0-4.5
最適温度	30 °C
特異性	ムレイングリカン鎖および不溶性の高分子量ムレインサキュリ

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。